

算数オンライン塾 3月14日の問題解説

(1) 2023年8月10日に貯金を始めたので、8月9日が0日になります。

8月 $31-9=22$ 日 9月→30日 10月→31日 11月→30日 12月→31日 合計は144日

2024年はうるう年ですから366日です。

2025年に入って1月→31日、2月→28日、3月→31日は90日ですから、合計 $144+366+90=600$

(答え) 600日目

(2) 30日の間に、 $1500+500=2000$ 円もらいます。 $24000\div 2000=12$ 回ですが、それはお父さんから500円をもらう日です。

お父さんが最初におこづかいをくれるのは、2023年8月11日ですから、12回目は $11+30\times 11=8$ 月341日です。

8月→31日 9月→30日、10月→31日、11月→30日、12月→31日でここまで $31\times 3+30\times 2=93+60=153$ 日 $341-153=188$

2024年はうるう年ですから、

1月→31日、2月→29日、3月→31日、4月→30日、5月→31日、6月→30日までで $31\times 3+30\times 2+29=93+60+29=182$

$188-182=6$ 日ですから、2024年7月6日です。

(答え) 2024年7月6日

(3) 8月15日に本を買うので、その時に貯金は $1500+500-750=1250$ 円になります。以降、毎月15日で考えて行くと、

$24000\div 1250=19\cdots 250$ 円

なので、19回本を買うので、2023年は5回、2024年は12回、ですから、2025年2月15日に19回目の本を買います。

お母さんが19回目におこづかいをくれるのは、2023年8月10日 $+30\times 18=8$ 月550日

(2) から2023年が153日、2024年がうるう年なので、366日だから合計519日なので、残り31日。

したがってお母さんが19回目におこづかいをくれるのは2025年1月31日です。

このとき、貯金は $1250\times 18+1500=22500+1500=24000$ 円ちょうどになります。

(答え) 2025年1月31日